【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和2年7月27日(2020.7.27)

【公開番号】特開2018-202112(P2018-202112A)
【公開日】平成30年12月27日(2018.12.27)
【年通号数】公開・登録公報2018-050
【出願番号】特願2017-119111(P2017-119111)
【国際特許分類】
Ｄ０６Ｆ　57/00　　(2006.01)
Ａ４１Ｂ　11/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｄ０６Ｆ　57/00　　３４０
Ａ４１Ｂ　11/00

【手続補正書】
【提出日】令和2年5月24日(2020.5.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
靴下のふくらはぎ部分の形状に沿うふくらはぎ辺と前記靴下の足裏部の形状に沿う足裏辺とを有するハンガー基部と、
前記靴下の甲部分の形状に沿う拡張甲辺を有するハンガー拡張部と、
前記ハンガー基部の端部であって、前記足裏辺からは遠くて前記ふくらはぎ辺には近いほうの端部に設けられた基部連結部と、前記ハンガー拡張部の端部であって、前記拡張甲辺から遠いほうの端部に設けられた拡張部連結部とを連結したうえで、前記基部連結部と前記拡張部連結部とが離れる向きに付勢をする弾性連結部と、
前記基部連結部と前記拡張部連結部とが近接するように操作されたときの、前記ハンガー基部に対する前記ハンガー拡張部の移動方向を規制する移動規制部と、
を有し、
前記弾性連結部の付勢力に抗して前記基部連結部と前記拡張部連結部とが接近するように操作されると、前記ハンガー基部に対して前記ハンガー拡張部が移動し、その動きに伴って前記足裏辺に対して接近する向きに前記拡張甲辺が移動する靴下ハンガー。
【請求項２】
前記ハンガー基部には貫通した長穴が設けられ、
前記ハンガー拡張部には係合ピンが設けられ、
前記長穴に前記係合ピンが係合することにより前記移動規制部が構成されて、
前記ハンガー拡張部は、前記ハンガー基部に対して、前記長穴の延びている方向に移動可能な、
請求項１に記載の靴下ハンガー。
【請求項３】
前記ハンガー基部と前記ハンガー拡張部との相対する側の面のうち、一方の面上には直線状に延びている突起が設けられ、
他方の面上には前記突起に係合する溝が設けられ、
前記突起が、前記溝に契合して該溝の延びている方向へ摺動可能とすることで、前記移動規制部が構成される、

請求項１に記載の靴下ハンガー。
【請求項４】
針金で形成された前記ハンガー基部の端部であって、前記足裏辺からは遠くて前記ふくらはぎ辺には近いほうの端部に設けられた前記基部連結部と、
針金で形成された前記ハンガー拡張部の端部であって、前記拡張甲辺から遠いほうの端部に設けられた前記拡張部連結部とが、
前記弾性連結部を構成する針金で連結され、
前記ハンガー基部を形成する針金の一部が長穴を構成するように枠形状に巻かれていることによって長穴枠を形成し、
前記ハンガー拡張部を形成する針金の一部が凸状に屈曲されていることによって係合屈曲部を形成し、
前記係合屈曲部を前記長穴枠に係合させることによって、前記ハンガー基部に対して前記長穴枠の長く延びる方向に前記ハンガー拡張部を移動させるように規制する前記移動規制部が構成されている、
請求項１に記載の靴下ハンガー。
【請求項５】
前記基部連結部及び前記拡張部連結部とは別の部分で、前記ハンガー基部と前記ハンガー拡張部とを連結する離間支柱を有し、
前記離間支柱の一端は前記ハンガー基部に回転可能に保持され、
前記離間支柱の他の一端は前記ハンガー拡張部に回転可能に保持されることによって、前記離間支柱が前記移動規制部を構成しており、
前記基部連結部と前記拡張部連結部とを互いに接近する向きへ移動させると、前記離間支柱は、前記ハンガー基部と前記ハンガー拡張部とに対してそれぞれ回転し、
前記ハンガー基部に対して前記ハンガー拡張部が移動するのに伴って、前記足裏辺に対して接近する向きに前記拡張甲辺が移動する、
請求項１に記載の靴下ハンガー。
【請求項６】
針金で形成された前記ハンガー基部の端部であって、前記足裏辺からは遠くて前記ふくらはぎ辺には近いほうの端部に設けられた前記基部連結部と、
針金で形成された前記ハンガー拡張部の端部であって、前記拡張甲辺から遠いほうの端部に設けられた前記拡張部連結部とが、
前記弾性連結部を構成する針金で連結され、
前記ハンガー基部を形成する針金の一部が巻かれて環状である第１規制係合枠に形成され、
前記ハンガー拡張部を形成する針金の一部が巻かれて環状である第２規制係合枠に形成され、
更に、前記第１規制係合枠と、前記第２規制係合枠とが、連結針金と称することとする部材で連結されていることによって、前記第１規制係合枠と前記第２規制係合枠と前記連結針金とが、前記移動規制部として機能する、
請求項１に記載の靴下ハンガー。